

令和8年4月23日

国土交通省関東地方整備局

横浜国道事務所、川崎国道事務所、相武（そうぶ）国道事務所

令和8年度関東地方整備局(神奈川県内)道路関係予算の概要について

横浜国道事務所、川崎国道事務所、相武（そうぶ）国道事務所では、神奈川県内の直轄国道等の整備及び管理を実施しております。

令和8年度は、3事務所合計約436億円で事業を推進します。

<主要事業の概要>

【改築事業】

- 国道468号 首都圏中央連絡自動車道 <横浜国道事務所>
 - ・金沢～戸塚
 - ・横浜湘南道路
- 国道246号 厚木秦野道路 <川崎国道事務所・横浜国道事務所>
- 国道357号 東京湾岸道路(神奈川県区間) <横浜国道事務所・川崎国道事務所>
- 国道16号 追浜駅交通ターミナル整備事業 <横浜国道事務所>
- 国道1号 国府津駅前局所渋滞対策 <横浜国道事務所>

【交通安全事業】

- 国道1号 小田原市民会館前交差点改良 <横浜国道事務所> 【R8新規事業化】
- 国道20号 藤野駅周辺地区歩道整備 <相武（そうぶ）国道事務所>

【電線共同溝事業】

- 国道1号 西小磯（2）電線共同溝 <横浜国道事務所>
- 国道20号 与瀬電線共同溝 <相武（そうぶ）国道事務所>
- 国道246号 有馬（2）電線共同溝 <横浜国道事務所>
- 国道246号 曾屋電線共同溝 <横浜国道事務所>
- 国道357号 福浦電線共同溝 <横浜国道事務所>

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 神奈川県政記者クラブ 横浜ラジオ・テレビ記者会 川崎記者クラブ 相模原記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 横浜国道事務所

電話：045-287-3001（代表） メールアドレス：ktr-yokohama-chousa1@mlit.go.jp

副所長（改築担当） 山口（やまぐち）（内線：204）

副所長（管理担当） 岡田（おかだ）（内線：205）

関東地方整備局 川崎国道事務所

電話：044-888-6411（代表） メールアドレス：ktr-kawaka60@mlit.go.jp

副所長（改築担当） 松本（まつもと）（内線：204）

副所長（管理担当） 北堀（きたぼり）（内線：205）

関東地方整備局 相武（そうぶ）国道事務所

電話：042-643-2001（代表） メールアドレス：ktr-sobu-home_page@mlit.go.jp

副所長（改築担当） 有上（ありうえ）（内線：204）

副所長（管理担当） 斉藤（さいとう）（内線：205）

令和8年度 主な神奈川県内直轄事業予算総括表

令和8年度の主な神奈川県内直轄事業の事業別内訳は以下のとおりです。

令和8年度 主な神奈川県内 事業費

(単位:百万円)

事業名	R8事業費			合計
	横浜国道	川崎国道	相武国道	
改築事業				39,541
国道468号 首都圏中央連絡自動車道(金沢～戸塚)	12,000 ※1			12,000
国道468号 首都圏中央連絡自動車道(横浜湘南道路)	14,300 ※1			14,300
国道246号 厚木秦野道路		5,500		5,500
国道246号 厚木秦野道路(伊勢原西～秦野中井)		1,000		1,000
国道1号 新湘南バイパス	55			55
国道357号 東京湾岸道路(神奈川県区間)	5,500※2			5,500
国道16号 追浜駅交通ターミナル整備事業	130			130
国道16号 横須賀地区トンネル改修	50			50
国道409号 川崎縦貫道路		110		110
国道246号 都筑青葉地区環境整備		450		450
国道1号 神奈川湘南1号環境対策	20			20
国道1号 川崎1号環境整備	50			50
国道16号 神奈川16号環境対策	316 ※3		316 ※3	316
国道246号 神奈川県西部246号環境対策	10			10
国道1号 国府津駅前局所渋滞対策	50			50
交通安全事業(Ⅰ種)				
国道1号 小田原市民会館前交差点改良 外10箇所	1,044		339	1383
交通安全事業(Ⅱ種)				
国道1号他 区画線、CCTV、情報提供機器 等				438
電線共同溝事業				
国道246号 曾屋電線共同溝 外35箇所	2,186		90	2,276
合計				43,638

※ 上記の外、受託工事費、維持管理費、調査費等があります。

※1 関東地方整備局関係予算とは別に、財政投融資を活用して事業を実施しています。

※2 一般国道357号東京湾岸道路(神奈川県区間)は、横浜国道事務所及び川崎国道事務所にて事業を実施しています。事業費については、両事務所の総計を記載しています。

※3 一般国道16号神奈川16号環境対策は、横浜国道事務所及び相武国道事務所にて事業を実施しています。事業費については、両事務所の総計を記載しています。

国道468号 首都圏中央連絡自動車道[金沢～戸塚]

(横浜市、鎌倉市)

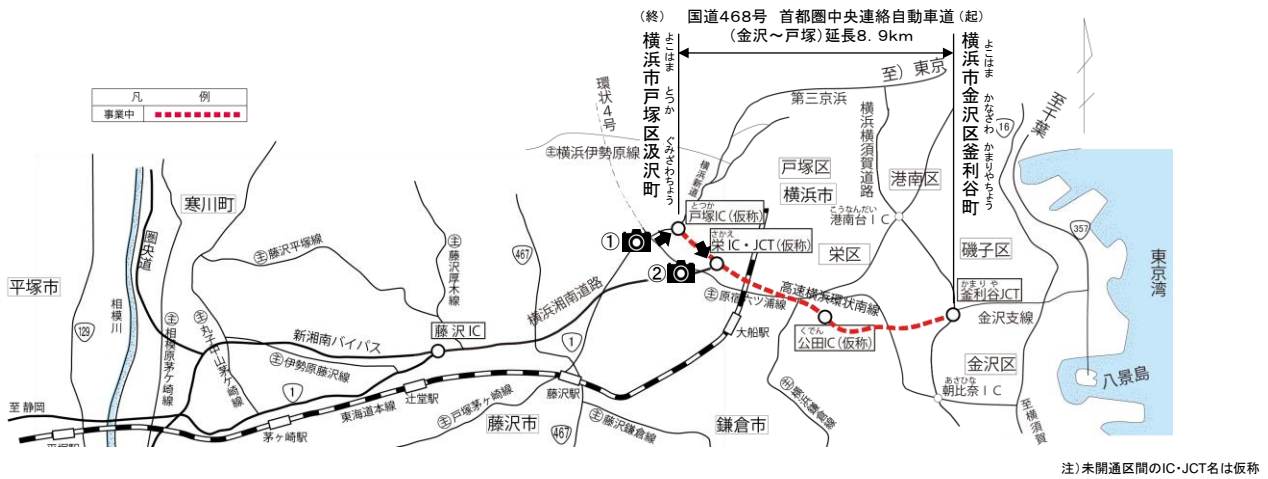
令和8年度事業費：120.00億円

概要

圏央道[金沢～戸塚]【高速横浜環状南線】は、横浜都心から概ね半径10～15kmの位置に計画された横浜環状道路の一部であり、横浜市内の交通の利便性向上や交通渋滞の緩和、地域拠点間の連絡強化、周辺地域の活性化に寄与することを目的とした道路で、東日本高速道路(株)と共同で事業を実施※しています。

令和8年度の予定

横浜市金沢区釜利谷町～横浜市戸塚区汲沢町までの延長8.9km(一部区間は東日本高速道路(株)が担当)について、調査設計、用地買収、栄IC・JCT橋梁上部工事及び栄・戸塚地区改良工事等を推進しています。



①【戸塚IC(仮称)付近状況(令和8年3月撮影)】

②【栄IC・JCT(仮称)付近状況(令和8年3月撮影)】

※関東地方整備局関係予算とは別に、財政投融资を活用して事業を実施

国道468号 首都圏中央連絡自動車道[横浜湘南道路]

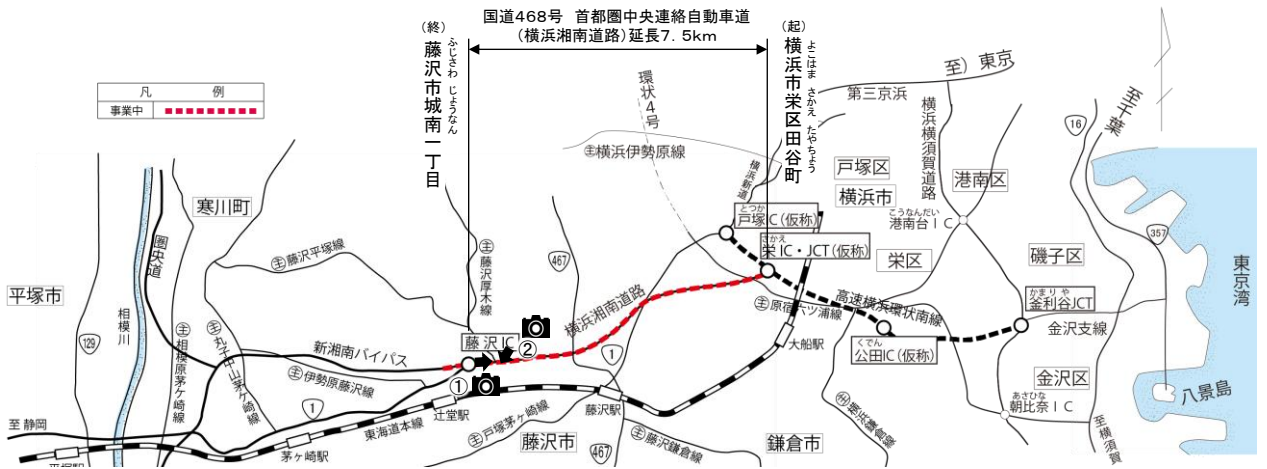
(横浜市、鎌倉市、藤沢市)
令和8年度事業費：143.00億円

概要

圏央道[横浜湘南道路]は、既に開通している区間の新湘南バイパス等と一体となって自動車専用道路のネットワークを形成し、広域的な交通の円滑化を図るとともに、地域交通の交通分担の適正化、国道1号の交通混雑緩和等に寄与する道路で、東日本高速道路(株)と共同で事業を実施※しています。

令和8年度の予定

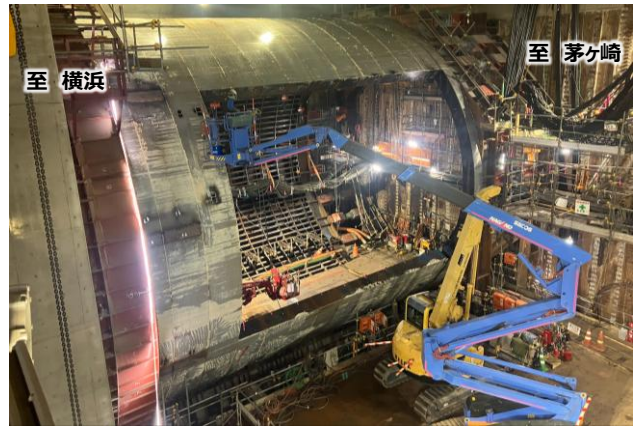
横浜市栄区田谷町～神奈川県藤沢市城南一丁目までの延長7.5kmについて、調査設計、用地買収、横湘トンネル工事、小雀・藤沢地区改良工事を推進しています。



注)未開通区間のIC・JCT名は仮称



①【藤沢IC付近状況(令和8年3月撮影)】



②【トンネル工事状況(令和8年3月撮影)】

※関東地方整備局関係予算とは別に、財政投融資を活用して事業を実施

国道357号 東京湾岸道路(神奈川県区間)

(横浜市、川崎市、横須賀市)
令和8年度事業費:55.00億円

概要

国道357号東京湾岸道路は、東京湾に面する千葉・東京・神奈川の各都市を結ぶ延長約80kmの幹線道路であり、東京湾岸道路の一部として位置付けられています。

本道路の整備により、都市内の交通渋滞緩和、空港や湾岸地域の物流拠点とのアクセス向上など、物流の効率化を図ります。

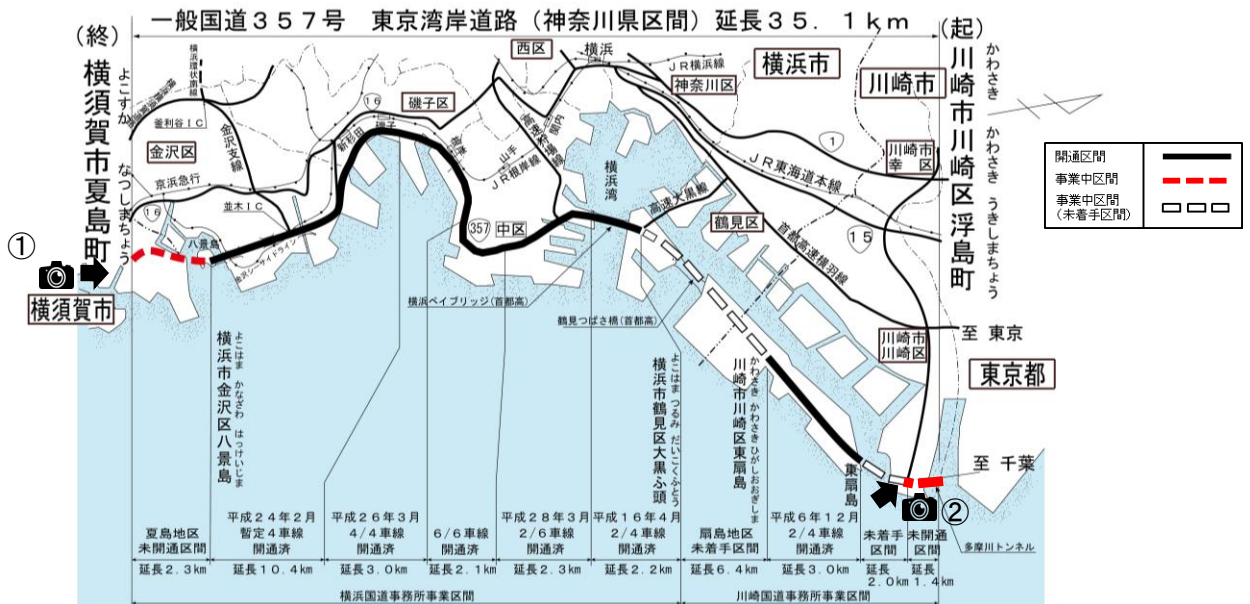
これまでに川崎市川崎区浮島町から横須賀市夏島町までのうち、暫定整備も含め延長23.0kmが2～6車線で開通しています。

令和8年度の予定

多摩川トンネルは、調査設計、浮島地区において改良工事を推進します。

八景島～夏島地区は、調査設計、夏島地区において改良工事を推進します。

扇島地区については、川崎市をはじめとする関係機関と連携し、事業着手に向けて調整を進めます。



①【夏島地区付近(令和6年1月撮影)】



②【多摩川トンネル浮島立坑(令和8年4月撮影)】

国道16号 おっ ぱま 追浜駅交通ターミナル整備事業

(横須賀市)

令和8年度事業費：1.30億円

概 要

国道16号 おっ ぱま 追浜駅交通ターミナル整備事業は、分散するバス・タクシー乗降場の集約によるモーダルコネクト環境の整備を目的とした事業です。

えき・まち・みちが一体となった空間を官民連携で具体化し、モーダルコネクト環境の整備や、駅周辺の混雑緩和・交通円滑化、回遊性の向上、賑わい・魅力向上、防災機能の向上等のため、交通ターミナル整備及び歩行者デッキ整備を進め、未来を見据えた駅前拠点の創出を目指します。

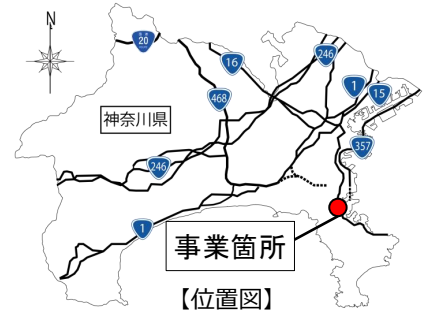
令和7年6月に「追浜駅交通結節点整備事業計画」を改定し、令和7年9月に設計及び用地説明会を開催しました。

令和8年度の予定

調査設計を推進します。

【事業概要】

- ・事業箇所：おっ ぱま ちやう 神奈川県横須賀市追浜町3丁目～おっ ぱま ほんちやう 追浜本町1丁目
- ・面積：約0.7ha
- ・事業内容：交通ターミナル整備、歩行者デッキ整備 等



新たなモビリティネットワーク

駅前や周辺の回遊性を向上させるモビリティネットワークを構築

公共施設・防災施設

平常時に市民の憩いの場、災害時に情報拠点となる空間を設置

交通ターミナル

バス・タクシー乗降場等を駅前に配置し乗り換え利便性を確保

歩行者デッキ

賑わい空間の創出や回遊性向上のためのデッキネットワークを整備

国道16号・357号

追浜周辺の道路ネットワークの機能強化

駅前再開発

駅前と新・既存再開発ゾーン間で必要な機能の役割分担を検討

市道追浜夏島線・鷹取川

交通量増加への対応のため、周辺まちづくりと連動した拡幅を検討

<出典>
 ※1：国道2号 神戸三宮駅前空間の事業計画（国土交通省・神戸市）より
 ※2：2040年、道路の景色が変わる～人々の幸につながる道路～より
 ※3：追浜駅前第2街区市街地再開発組合提供

追浜駅交通結節点の将来の姿(イメージ)

※イメージであり、整備内容を決定するものではありません

国道16号 横須賀地区トンネル改修

(横須賀市)

令和8年度事業費：0.50億円

概要

よこすかちく

国道16号横須賀地区トンネル改修は、横須賀市内の国道16号における、老朽化が著しいトンネルのうち抜本的な対策の必要性が高いものを対象に、改修整備を行い交通の安全性の確保や円滑化を図るものです。

よしくらちよ

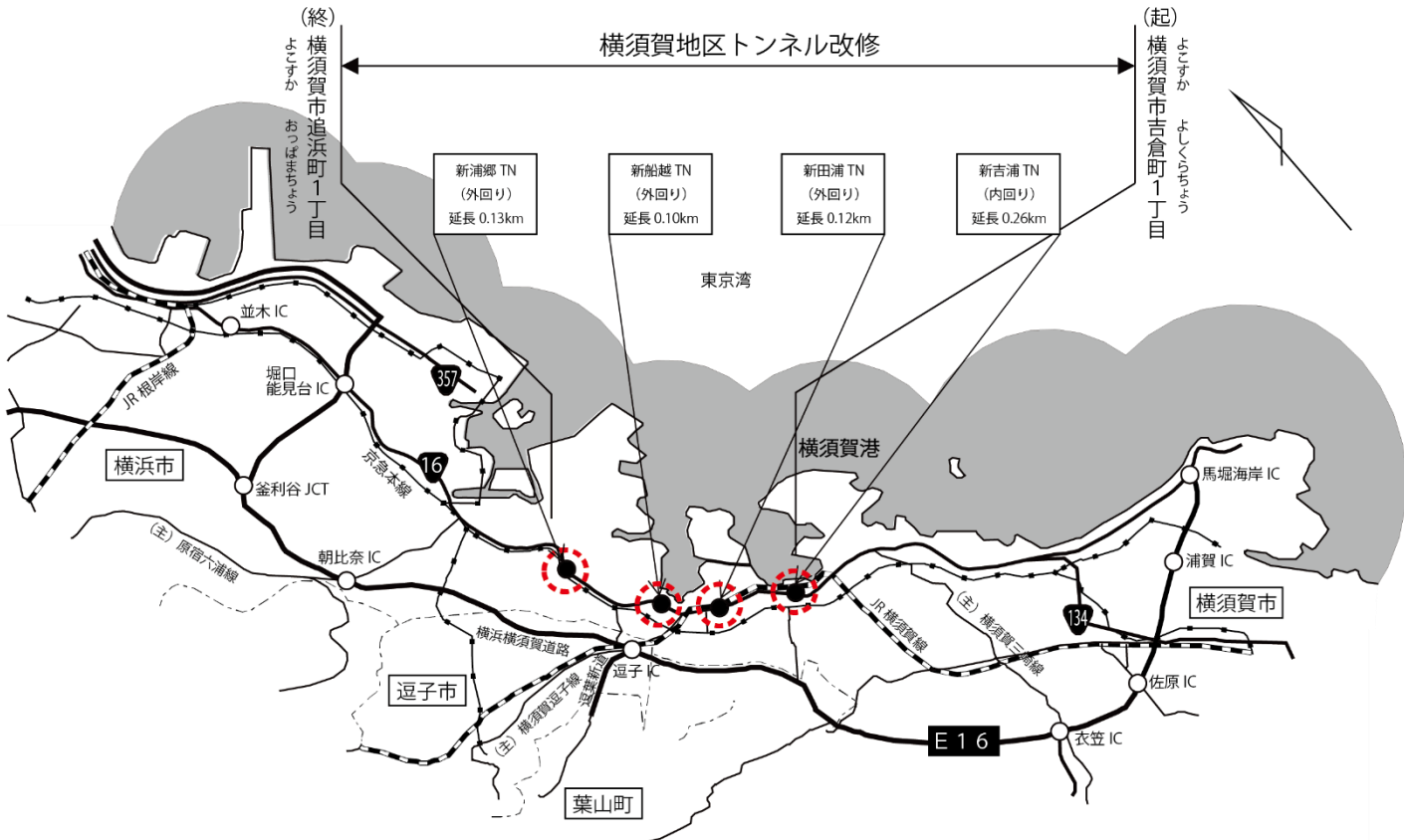
おっぱまちよ

しんうごう しんふなこし しんたう

横須賀市吉倉町1丁目～横須賀市追浜町1丁目までの間に存在する、新浦郷、新船越、新田浦、新吉浦トンネルの4カ所のトンネルにおいて、調査設計を推進しています。

令和8年度の予定

調査設計を推進します。



国道409号 川崎縦貫道路

(川崎市)

令和8年度事業費：1.10億円

概要

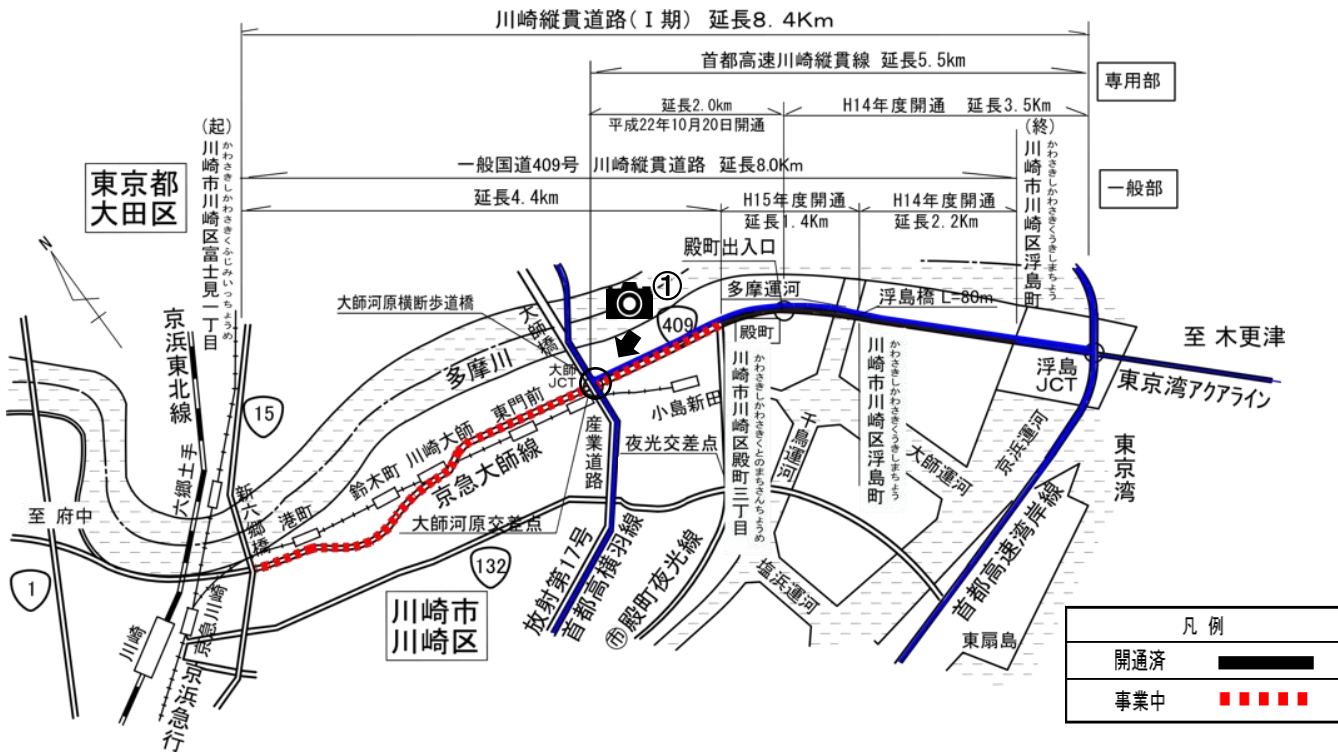
かわさきじゅうかんだう ろ

国道409号川崎縦貫道路は、東京湾岸道路及び東京湾アクアラインと連絡し、川崎市の拠点開発等を支援するとともに、交通混雑の緩和、沿道環境の改善等を図る事業です。

令和8年度の予定

だいしがわら

大師河原横断歩道橋の架替に伴う調査設計、環境整備を推進します。



①現在の大師河原横断歩道橋(浮島から川崎駅方面)



大師河原横断歩道橋イメージ図(浮島から川崎駅方面)

国道246号 都筑青葉地区環境整備

(横浜市)
令和8年度事業費:4.5億円

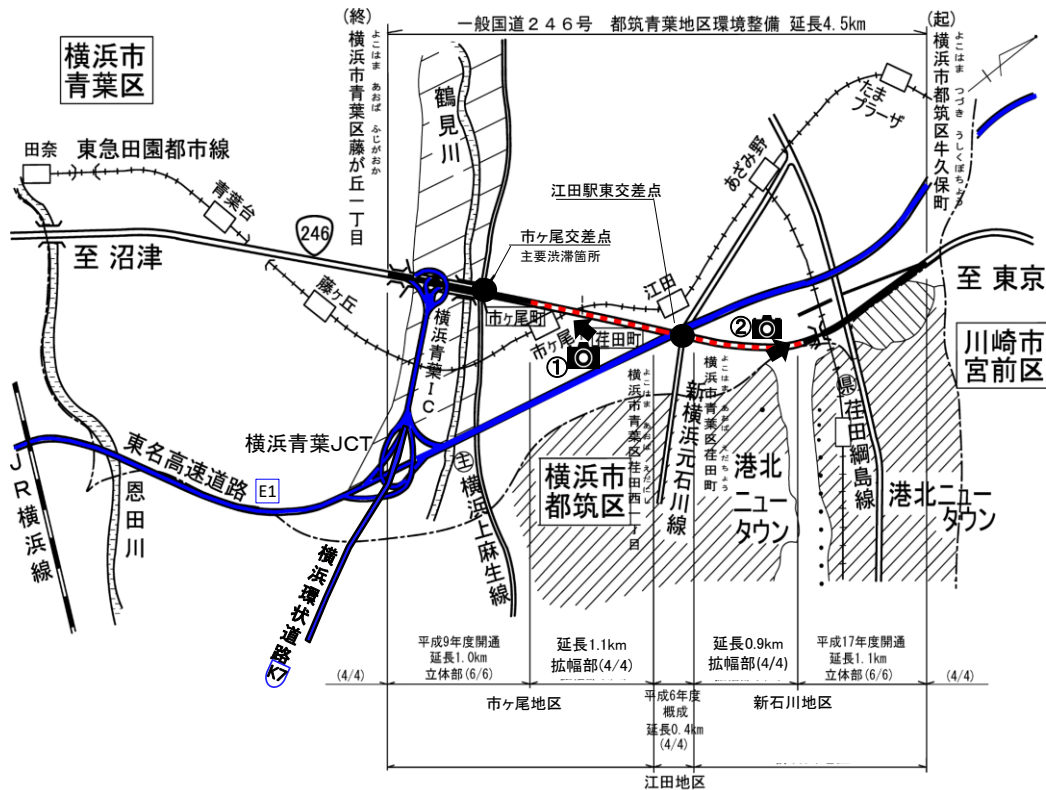
概要

国道246号都筑青葉地区環境整備は、交差点部の立体化や拡幅等を行い、東名高速道路へのアクセス向上、交通渋滞緩和、沿道環境の改善等を図る事業であり、横浜青葉ICの開通とあわせ、市ヶ尾交差点の立体化は平成10年に、新石川交差点の立体化は平成18年に開通しています。

令和8年度の予定

新石川地区

新石川地区(拡幅部)にて、調査設計、用地買収、環境整備を推進します。



①整備後の市ヶ尾地区(拡幅部)



②整備前の新石川地区(拡幅部)

国道1号 かわさき 川崎1号環境整備 ごう かんきょうせい び

(川崎市)

令和8年度事業費:0.50億円

概要

国道1号川崎1号環境整備は、川崎市内の国道1号における歩行環境、自動車交通の円滑化、大気・騒音環境の改善など、道路と沿道が一体となったゆとりある「みち」と「まち」づくりを進めることを目的とした沿道環境整備事業です。

川崎市幸区小向仲野町～川崎市幸区柳町間の延長2.8kmについて、環境対策を推進しています。

令和8年度の予定

調査設計を推進します。



【歩道整備前の状況】
(川崎市幸区神明町下り線)



【歩道整備後の状況】
歩道拡幅による歩行者と自転車走行空間の分離
(川崎市幸区神明町下り線)

国道16号 神奈川16号環境対策

(横浜市、相模原市)

令和8年度事業費:3.16億円

概要

国道16号神奈川16号環境対策は、神奈川県内の国道16号(延長73.4km)における騒音環境の改善を目的とした沿道環境整備事業です。

神奈川県内では、国道16号の延長72.2kmの環境対策を推進しています。

令和8年度の予定

調査設計及び環境対策工を推進します。



国道1号 国府津駅前局所渋滞対策

(小田原市)

令和8年度事業費：0.50億円

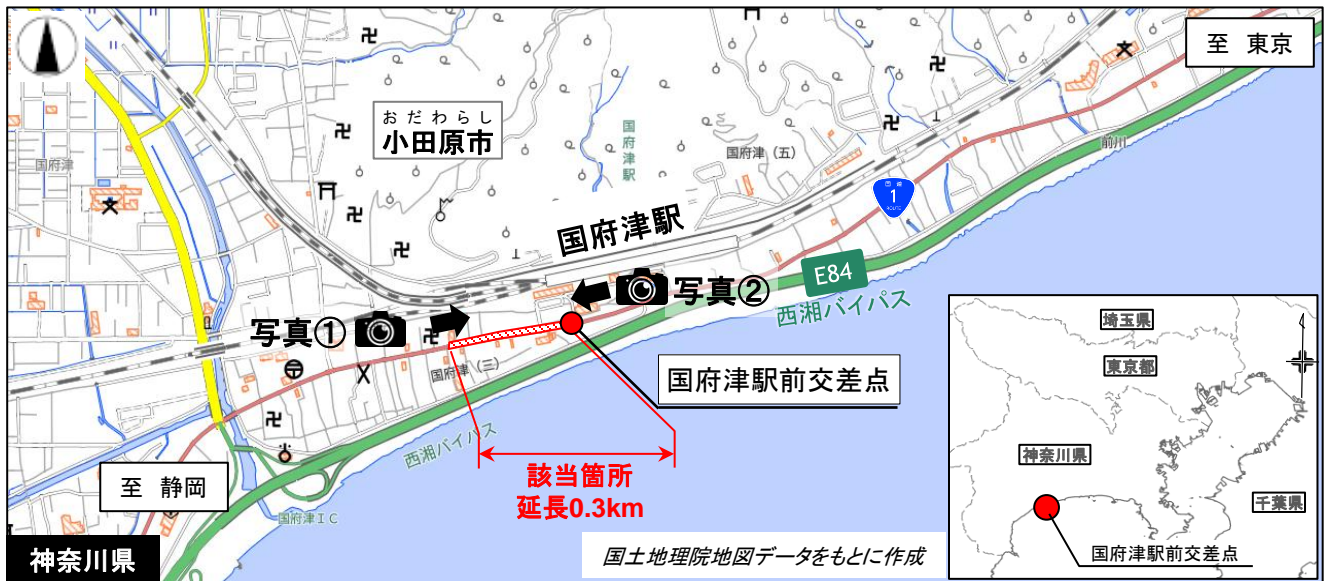
概要

一般国道1号国府津駅前交差点は、JR国府津駅へ向かう駅利用交通が多く、上り方面の車線が駅へ向かう車両で滞留していることから、後続直進車のボトルネックとなっている状況です。

このため、国府津駅前局所渋滞対策として、国府津駅前交差点を改良する事業です。

令和8年度の予定

調査設計を推進します。



▲国府津駅前を先頭とした上り方向の渋滞の様子



▲左折車の通過待ちにより後続車両が滞留している様子

交通安全対策事業

お だ わ ら し み ん か い か ん ま え

国道1号 小田原市民会館前交差点改良

(小田原市)

令和8年度事業費:0.50億円

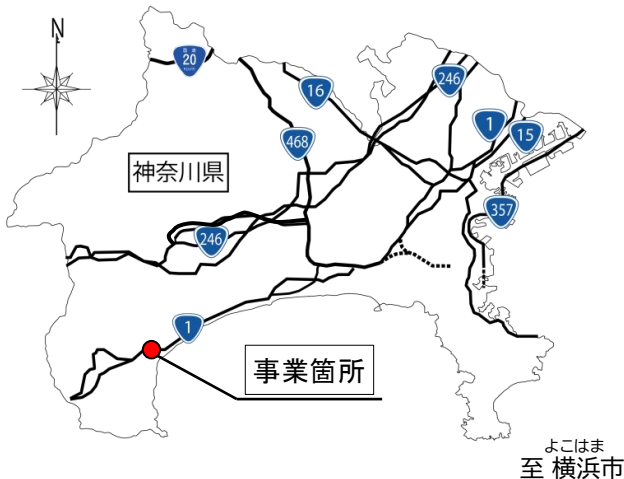
概 要

当該箇所は、国道1号と国道255号線が交差する交差点で、小田原市の交通バリアフリー基本構想における重点整備地区の指定区域として位置づけられており、当該箇所は、特定道路に指定されていますが、既設の横断歩道橋はエレベータ、斜路付階段等が無く、歩行者の移動円滑化及び安全な通行空間が確保されていない状況です。

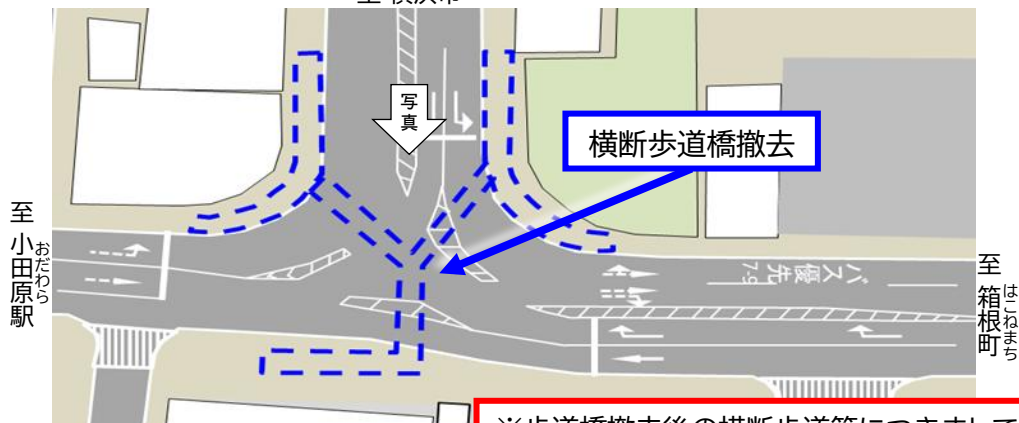
本事業は、既設横断歩道橋の撤去及び横断歩道の新設等の交差点改良を行うことで道路利用者の安全・安心の確保を図るため、効果的な交通安全対策を推進するものです。

令和8年度の予定

調査設計を推進します。



【現況写真】



※歩道橋撤去後の横断歩道等につきましては、関係機関と調整してまいります。

交通安全対策事業

国道20号 藤野駅周辺地区歩道整備

(相模原市)

令和8年度事業費：2.00億円

概要

国道20号藤野駅周辺地区歩道整備は、国道の線形改良及び歩道設置をすることにより、歩行者の安全・安心な通行空間の確保を目的とした神奈川県相模原市小淵地先における延長約0.34kmの交通安全対策事業です。

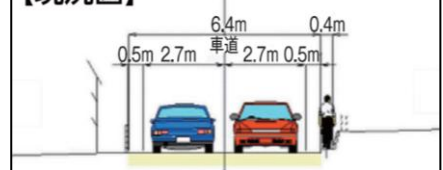
令和8年度の予定

調査設計、用地買収及び工事を推進します。

【位置図】



【現況図】



【計画図】



現況写真



【平面図】



電線共同溝事業

国道246号曾屋電線共同溝 外35箇所
令和8年度事業費：22.76億円

概要

電線共同溝の整備により無電柱化を図り、安全で快適な歩行空間の確保、都市景観や防災性の向上等を図ることを目的として整備を推進します。

令和8年度の予定

今年度も引き続き、調査設計、支障物移設、本体工事(引込連系管路工事等含む)を推進します。

【主な事業箇所】

国道1号	<small>にしこいそ</small> 西小磯(2)電線共同溝	
国道20号	<small>よせ</small> 与瀬電線共同溝	
国道246号	<small>ありま</small> 有馬(2)電線共同溝	
国道246号	<small>そや</small> 曾屋電線共同溝	
国道357号	<small>ふくうら</small> 福浦電線共同溝	外31箇所

電線共同溝整備の事例（国道357号 しんいそご新磯子電線共同溝）



【整備前】



【整備後】

維持管理

概要

横浜国道・相武国道事務所では国道1号、15号、16号、20号、246号、357号、409号の7路線、延長約290kmを管理しており、道路を安全で安心して利用していただくため、巡回、清掃、路面補修などを実施しています。

また、高度経済成長期に集中して建設された道路ストックなどを中心に長寿命化等予防保全対策、また、緊急に実施すべき対策として、法面对策工事等を実施します。



巡回
(落下物回収)



清掃
(路面清掃・排水施設清掃等)



路面補修

台風、集中豪雨、異常時の巡回や緊急処理を推進し、交通の安全確保を行います。降雪時の凍結防止剤の散布や除雪作業を行います。



冠水処理
(国道1号)



除雪作業
(国道1号箱根新道)



おおたるみとうげ さがみ こ
除雪作業
(国道20号大垂水峠・相模湖)

維持管理

維持管理に係る取組

横浜国道事務所では、沿道住民の方々、地元自治体、地元小学校、地元企業と協同して、維持管理に係る様々な取組を試行的に実施しています。

道路美化活動に係る啓発活動等

ひがし おおぎしま
【国道357号東扇島地区における清掃活動の例】

川崎市、川崎臨港警察署および地元関係団体と共同して、清掃活動を実施しています。

取り組み活動の様子



※令和8年1月22日実施

かねだ
【国道246号厚木市金田地先における清掃活動の例】

地元小学校のPTA、地元自治会、厚木市及び厚木警察署と協同して実施しています。

取り組み活動の様子



※令和7年10月18日実施

維持管理（長寿命化対策）

主な事業

重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保するため、橋梁などの道路施設において定期的に点検を実施し、施設の機能に支障を及ぼす劣化や損傷が生じている箇所の補修を行います。

橋梁点検状況（遠景）



橋梁点検状況（近景）



【国道20号 橋梁点検車による橋梁点検事例】

橋梁補修 施工前



階段部の老朽化

橋梁補修 施工後



当て板で補修

【国道16号 相模原市清新三丁目歩道橋における階段部補修事例】

橋梁補修 施工前



老朽化による桁端部の腐食

橋梁補修 施工後



主桁端部の部材補強再塗装

【国道1号西湘バイパス 小余綾高架橋における補修事例】

こゆるぎ

維持管理（法面对策工事）

主な事業

豪雨により土砂災害等が発生するリスクを回避するため、法面崩壊等のおそれのある箇所について法枠工等の法面对策を実施することで、道路法面・盛土等に関する緊急対策などを推進します。

着手前



整備状況



【市街地部の法面对策】
国道1号 横浜市鶴見区
コンクリート吹きつけによる法面对策

災害対応

「無人航空機による災害応急対策活動（撮影等）協定」に基づく飛行訓練

首都直下地震発生時等における道路啓開候補路線※並びに管内管理路線の被災状況把握において使用する無人航空機情報の伝達等について活動時に支障がないよう備えるため、協定会社と共に飛行訓練を実施しております。

※首都直下地震発災時における優先的に道路啓開を実施する候補となる路線



協定会社への訓練説明状況



無人航空機(ドローン)飛行訓練

災害を想定した実動訓練の実施

大規模地震及び大雪等の災害時に備えて、道路啓開作業時に支障となる放置車両移動訓練を協力会社等と実施しております。



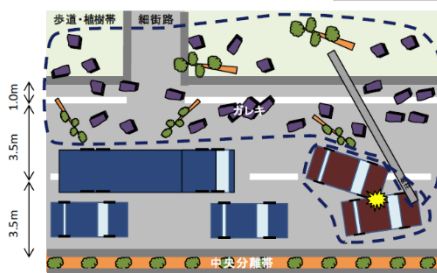
放置車両移動訓練



段差解消訓練

令和7年3月に神奈川県緊急輸送道路ネットワーク協議会において、優先して道路啓開を実施する候補路線を選定するなど「神奈川県版道路啓開計画」としての内容の充実を図ることとしています。

道路啓開イメージ



道路啓開前



道路啓開後

道路啓開作業



<参考> 神奈川県内の直轄国道における各事務所・出張所の担当路線

